

平成29年度定例第3回理事会次第

期 日 平成30年3月17日(土) 10:00~

場 所 正田醤油スタジアム群馬 会議室

・ザスパ草津 奈良社長 挨拶

日程について、ホームゲーム16試合をする。十分連絡調整をして今年度やっていきたい。よろしくお願ひしたい。自由席券を持ってきたのでつかってほしい。

1 開 会

2 あいさつ 海野副会長

会長は、平昌パラリンピック大会に出席のため欠席だが、皆様に今年度もお世話になりました。次年度もご協力をよろしくと言われている。

今後も選手が安心して活動できるようご支援をいただきたい。平成30年度から10年後が2巡目国体になる。小学校1年生から中学1年生が国体時の中心選手である。子供たちを群馬陸協全員で育てていく必要がある。

開催県総合優勝という凶式が崩れてきている。地元選手を育てて、活躍できる選手にして国体を迎えたいので、さらなるご協力ご支援をいただきたい。

3 出席確認 理事総数56名 出席43名、委任11名 計54名

4 報告事項

(1) 日本陸連・関東陸協・実業団連合関係(理事長)

1月5日関東陸協理事会、日本陸連連絡協議会

日本陸連関係では競技委員会、用器具委員会等から、日本陸連の将来ビジョンが示された。

2018年には世界のトップ8に入れるような陸上競技連盟を作りたいとのことであった。

陸連の考えているところと都道府県陸協の考え方が違っているような感じを受けたが、今後国体に向けて、国体時に必要な審判員や係員を養成する必要がある。若い世代を地元で活躍できる環境を作っていきたい。

施設用器具からは、昨今世界に通用する記録が出るようになった。そのためには競技場がIAAF公認を取らなければならない。敷島はIAAF公認を取っていない。次の公認に向けてIAAF公認をとれるよう働きかけていきたい。

関東陸協では、事業報告、事業計画があった。H30年度は関東高校があるので協力をいただきたい。H31年度は関東選手権の他、関東レベル以上の大会が続くのでまたご協力をいただきたい。

実業団連合では、反省会が行われた。コース変更もあったが、いい大会であったとのまとめであった。

(2) 平成 2 9 年度各委員会度事業報告 (年鑑により説明)

総務委員会 (総務委員長) P345

年鑑作成ができた。ありがとうございました。

財務委員会 (財務委員長) P346

決算報告は 6 月に行う。

競技運営委員会 (競技運営委員長) P347 -

競技運営責任者会議の資料を掲載してある。東京オリンピックを見据えて、世界ルールに合わせていく動きがある。リレーのブルーゾーンの撤廃がある。今後はブルーゾーンを含めて 3 0 m をバトンゾーンとすることになった。今後は検定まで、ブルーゾーンのところに仮設のテープを張ったり、オーバーゾーンの見方も変わる。

日本陸連ではマスターズ競技会について、2 0 2 0 年までにはすべて陸連登録者で行いたいと考えている。

スタートにおけるやり直しについては、ピクツキについてのやり直しはやり直しではなくイエローカードを出すことになる。2 回イエローカードがでると、大会から除外されてしまう。中高生の大会については、指導しながら上位の大会でまごつかないように指導するようになる。

フィールド種目の試合時間の変更がある。1 分から 30 秒に短縮される。競技会の流れのなかで行うことになるので、選手は競技会の流れに合わせるようになる。

投擲種目はサークルのふちに足が触ることは、有利に働かない場合は OK にするというようなルール変更がある。

オリンピック、世界選手権の参加標準については、ポイント制が導入される。登録が国籍とアルファベット表記が出てきている。今後は、大会ごとのポイントの管理が行われる。

幅、三段とびにおいては、最大 6 回という言葉の解釈で、試技 2 回でトップ 8 を決めてもよくなる。

細かい部分については、審判講習会で説明するので、よろしくお願いします。

強化委員会 P354-355

国体、全国男女駅伝へのご支援ありがとうございます。今年度は中高合同練習会を行った。ヤマダ電機、群馬総合ガードシステム等の企業選手が参加してくれて、いい練習会になった。タレント発掘と女子の競技力の向上、競技の継続等々課題になっている。今後もより一層強化策をてて事業を推進していくのでご支援ください。

普及委員会 (普及委員長) P356

3 月 3 日 少年少女駅伝で、今年度の大会は無事終了できたありがとうございました。日本陸連からは、全国交流大会の運営が変わるようだ。地域の予選会の日程についてご検討ください。

(3) 中体連・高体連

中体連 (中体連委員長)

関東中学駅伝を前橋総合で行った。無事に大会運営ができました。全国駅伝では、中之条中学が入賞した。10 年連続の入賞であった。

2 月 3 日に大阪室内において、中学生で初めて棒高跳で 5 m を超える 5 m 0 5 c m の日本

記録を樹立した。

来週24日に第43回の混成大会を行う予定である。宮城、福島が参加してくれている。近隣の県の選手の参加があり、1200名規模の大会である。

高体連（高体連委員長）

全国IHは、2018は三重、2019は沖縄、2020は東京オリンピックとの関係で未定である。4月の各都道府県委員長会議にて決定される予定。

2018年度は、関東高校6/15-18：群馬、関東駅伝：埼玉、関東新人：山梨となる。

今年度投擲種目で不幸な事故があったが、1月13日に高体連臨時顧問総会を行い、安全について確認、研修を行った。現在は第三者委員会で検討している。

部活動の活動について、活動時間休日など、厳しい見方になってくる。効率的な活動、クラブチームとの協力も必要となると考えている。

5 議長選出 海野副会長

6 協議事項

第1号 平成30年度群馬陸協主催大会について（競技運営委員長）

年鑑P8-9に年間スケジュールを掲載した。

4/7投擲チャレンジ記録会は、出場人数によって投擲回数を制限する。

4月群馬リレーカーニバルは今年度敷島で行う。

6/3記録会でサッカーの関東高校と被るので、通常大会と違う運営になる。

6月3週目関東高校が開催される。

7月2週目ジャパンパラリンピック大会が開催される。

10月1週目国体は福井での開催されている。

日本選手権リレーが北九州開催される。

県民体育大会は、今年度浜川で開催する。

12/1高経大長距離記録会が新設されている。

H30年度は伊勢崎競技場が使えないので、会場の変更がある。

第2号 その他

・武藤理事長の副会長就任について（海野副会長）

正副会長、顧問、参与会議にて承認を得たが、H14から理事長をしている武藤氏について、60歳定年になるので、副会長に就任してもらいたい。

・小学生、中学生の最上学年の夏以降、練習環境がなくなることにより、各クラブでの練習会を行うなど、スムーズな移行ができるのではないかと。各クラブについてご協力をいただきたい。

7 その他

・登録について、各クラブの登録費の調査をさせていただく。

・小学生の活動、中学生の活動状況を調べたものを報告する。

8 閉会